

5/25

2022年第1427号

(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会  
会 武  
発 和  
行 田  
人 武  
大 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33  
阪 大  
電 話 (06) 6568-7731 (代 表)  
http://osk-hok.org/  
● 定 価 ・ 年 間 10,000 円 月 1,000 円  
● 1977 年 5 月 23 日 第 三 種 郵 便 物 認 可



なおの・あきこ 九州大学、広島市立大学を経て、2020年から現職。専門は歴史社会学。被爆者から聞き取りを重ねて記憶と継承について研究。著書に『被ばくと補償』『原爆体験と戦後日本』など。

### 論点

## 「核共有」

# 核の加害国になる選択

## 望む安全保障の形なのか

### 核による報復の脅しで攻撃抑止

ロシアによるウクライナ侵攻を受け、国内では一部の政治家が米国との「核共有」を検討すべきだと主張している。米国による核の拡大抑止を強化すべきだといっている。核の拡大抑止とは、核による報復の脅しでもって、自国だけでなく同盟国への攻撃を思いとどまらせることをいう。核共有とは、核抑止の信頼性を保つために、北大西洋条約機構(NATO)が冷戦

期に構築した集団防衛体制で、米国の核を運用する責任とリスクを同盟国間で共有するものだ。ドイツなど4カ国に米核爆弾が配備され、フランス以外の全加盟国からなる「核計画グループ」が核戦略を検討する。ただし、核使用の最終決定権は米大統領にある。有事の際には、配備国の戦闘機に核を搭載して出撃となる。

NATO全体で核運用に責任を持つことになった背景には、米国の拡大抑止に対する懸念があった。欧州有事の際、核抑止力行使したなら

ば、敵が米本土を射程内に収める戦略核で応酬する可能性が高まる。自国民が犠牲となるリスクを犯してまで、米国の核による報復に出るだろうかと欧州側は疑念を抱くことになる。

### 京都大准教授 直野章子さん

もし報復の約束が信頼できないとなれば、欧米間の亀裂につけ込んで、敵が欧州侵襲の賭けに出る可能性が高まり、欧州の非核保有国(冷戦期は西独が念頭にあった)は核武装へと向かうこととなる。そこで、欧州に配備した米国の核の運用に欧州側が参画することで、核拡散を防ぐ

と共に、米国が提供する核抑止の信頼性を確保しようとしたのである。この体制は同時に、欧州が核攻撃を受けるリスクを高める。しかし、欧州側は、米の核抑止維持に伴うリスクを共有し、NATOの結束を強化する道を選択した。

とは、被爆国日本が、核の加害国になることを一つの選択肢として考えるということだ。それが緊張関係にある諸隣国や国際社会にどんなメッセージとして受けとめられるかは、想像に難くない。その結果、核軍縮は決定的に後退し、最悪の結末をもたらすリスクを高めることになるだろう。これが、私たちの望む安全保障の形なのか。

仮に日本がNATO式の核共有に踏み切ったとしよう。国内に米核爆弾が配備され、日米合同で核戦略を練り、自衛隊と米軍が核攻撃の合同訓練を行い、有事の際には、自衛隊が核爆弾を投下する任務を担うことになる。核の拡大抑止を維持するために必要な、核攻撃を行う意思、能力と体制を、米国と共有することになるのだ。

パンデミックに襲われた2020年の軍事費は、世界全体で217兆円にも上る。これだけの予算が医療や福祉に投じられていたら、どれだけの命が救えただろう。互いを敵とみなして殺し合いに備えることは、命と暮らしを守るための資金を奪う。その一方で、軍事関連企業とその株主たち(政治家を含む)に莫大(ばくだい)な富をもたらすことも忘れないでおこう。

## 金パラの行方



### 田辺隆氏(北海道保険医会理事)に聞く

金パラの具体的な代替材料は、ブリッジを扱えることが金パラの代替材料には求められます。その点ではシリコニアは適していると思います。また、CAD/CAM冠の適応拡大についても、金属アレルギー患者でなくても7番への適応も進めるべきです。「6番は白くでき

るけど7番は銀歯です」では、患者には納得してもらえません。患者は審美的にもメタルフリーの材料が保険に入ることを望んでいます。

## 混合診療に決別する覚悟

自費の治療が保険収載されることで経営面の心配をする意見もありません。保険収載されれば自費に比べて利益が下がることとは否めません。昨年、保険収載された「磁性ア

高価な設備が必要ですが、保険収載されることによって需要が増えれば、設備の価格も下がると思います。ただし、現行の保険制度の下では「クラウン・ブリッジ維持管理」の見直しが必要にはなるでしょう。

「歯科界から技術料の引き上げの要請があれば、中医協で検討できる。ただし、保険点数も上げてくれ、自費もやりたいでは通りませんよ」と言われたのをよく覚えています。

歯科医師が混合診療に決別する覚悟が問われます。国民・患者と力を合わせて、金パラの代替材料の保険収載を求める時期に来ているのではない

「保険でよい歯科医療を進めるチャンスだ」と思います。(おわり)

今号に同封  
施設基準の掲示に便利なシールポスターを同封しています。ご活用ください。

一方で家庭内の問題として表面化しにくい構造がある。孤立の解消や学習支援と食事支援、小休止サービス。学校や福祉の専門職による地域での多様な支援が必要だ。「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」は6月12日にヤングケアラー研究者・濱島淑恵氏を招き市民講座を開く。(Y)

## 第51回保団連 夏季セミナーWEB参加のご案内

- 7月2日(土) 18:30~21:00  
記念講演  
「医療・社会保障を基軸とする政治転換に向けて」(仮)  
中野晃一氏(上智大学国際教養学部教授)
- 7月3日(日) 9:30~12:00  
講座1:「コロナ禍を踏まえた財政・金融政策」(仮)  
講師: 建部正義氏(中央大学名誉教授)  
講座2:「憲法9条が謳う平和主義を国際外交から考える」(仮)  
講師: 柳澤協二氏(元内閣官房副長官補)  
講座3:「医学界のジェンダー平等を考えるー医学界の男女格差と「男並み」を支える女性の無償労働」  
講師: 安川康介氏(米国内科・感染症専門医)
- 講座4:「2022年度改定に向けて、歯科医療のこれからを考える」  
講師: 田辺 隆氏(保団連副会長)
- 13:00~15:30  
シンポジウム:  
「コロナ禍で問われる医療者と患者の向き合い方」(仮)
- 【参加費】 5千円  
【対象】 会員  
参加費を協会が全額補助します。申し込み締め切り6月9日(木)  
(協会06-6568-7731)

### 歯界

高齡の祖父  
母や精神疾患  
を持つ親、障  
がいを持つ子  
ようたいをケアする子  
もたちがいる。ヤングケ  
アラーとよばれる子ども  
たちの存在が知られるよ  
うになった。厚労省の調  
査によると小学6年生の  
15人に1人が家族の世話  
や介護をしている。